

活動報告

団体名	フュージョン社会力創造パートナーズ
活動名	被災者の心のケアのための足湯を通した傾聴活動、及び戸別訪問活動
活動期間	2019/12/01～2020/7/31
活動の成果	<p>常陸大宮市で足湯交流会を開催しました。常陸大宮市社会福祉協議会から区長さんに交流会開催を相談し被災後2か月ぶりに地域住民が顔を集う場となりました。高齢者を中心に、家族連れなど50人以上の参加があり、お互いの近況を伝えあい、被災の度合いの大きかった方をなぐさめる場面も見られました。足湯とマッサージをしながら住民のつづやきを聴き、2か月間耐え忍んできたことや、今後の住宅再建、人によっては移転なども考えておられることが分かりました。</p> <p>目標1：久しぶりに住民同士が気兼ねなく交流できる場を作ること 参加者が口をそろえて、2か月ぶりの再会の場を喜んでくださった。自身の課題解決で精一杯の中で、なかなか会うことのできなかつた住民同士で、現況共有できたことは、これまでを整理し、今後を見据える機会となった。</p> <p>目標2：湯を通して聞こえてきた被災者のつづやきを、必要に応じて専門機関につなぐこと 浸水した住宅の消毒や住宅再建についてのつづやきが多かつたため、過去に同様の洪水災害支援の経験のあるNPO 茨城 NPO センター・コモンズや茨城県弁護士会などの専門機関に、その都度つなぐことができた。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>このような機会を提供してくださり、本当にありがとうございました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定していた足湯交流会が全て中止となつてしまい、継続した支援につながらず、大変心苦しく感じています。いまだに各地で災害が起つていますが、当面は足湯交流会のような「3密」となる活動ができないことは、本来人間同士の密な関わりを通して被災回復（レジリエンス）の効果が大きいと感じているところ、それ無しで支援を進めていくしかないと思いますので、被災者にとつても、支援団体にとつても、厳しい状況にあると思います。ただ、「お互い様の社会づくり」のために、できる限りのことは続けてまいりますので、引き続きご支援、ご協力を頂けますと幸いです。</p>

(活動のようす)

